

公式携帯サイト「モバール・レイソル」では、公式WEBサイトとの連動コンテンツ、携帯オリジナルコンテンツをお楽しみいただけます。

◎月額315円(税込み・通信料除く)

<http://reysol.co.jp/>

スマートフォンサイト

[mopita] <http://mb.reysol.co.jp>

[docomo SPモード] <http://sp.reysol.co.jp>

REYSOL WINNING GUIDE

VOL. 246

発行: (株)日立柏レイソル 制作協力: (株)文化工房 スタッフライター: 平山佳代 オフィシャルフォトグラファー: 飯村健司 協力: 週刊サッカーダイジェスト

みんなで楽しいスタジアムをつくろう。  
J1、J2、全クラブ共通の観戦マナーです。

No Bottles or Cans  
ビン、カン類の持ち込み禁止

No Fireworks, Smoke, Candles or Horns  
花火、爆竹、発煙筒、ガスホーンの持ち込み禁止

No Throwing  
フィールドへモノの投げ込み禁止

No Jumping Down to the Field  
フィールドへの飛び降り禁止

No Violence  
暴力行為の禁止

2013 J.LEAGUE YAMAZAKI NABISCO CUP FINAL  
2013.11.2 SAT 国立競技場 13:10 KICK OFF

マッチコミッショナー: 菊地 秀夫 主審: 扇谷 健司 副審: 大塚 晴弘、山口 博司 第4の審判: 今村 義朗 アセッサー: 沖野 隼夫

# 初タイトルから14年 2度目のナビスコ制覇へ!!

## PREVIEW

柏レイソルが初めて手にしたタイトルが99年のヤマザキナビスコカップ。そしてユニホームには、このタイトルを意味する星が刻まれた。二つ目の星を手にするまでに12年の月日がかかったが、11年のJ1リーグ制覇に続く、12年天皇杯優勝で、いま胸元には3つの星が輝いている。そして4つ目の星を目指し、14年ぶりに再びヤマザキナビスコカップの決勝の舞台に選手たちは立っている。

今年最大の目標としていたAFCチャンピオンズリーグ(ACL)のタイトルは準決勝で逃したが、結果的に万全の戦いを挑めるようになった。言い訳なしの90分が始まる。

対戦相手の浦和レッズはリーグ戦でも優勝争いを続ける強豪クラブ。こちらも10年ぶり2度目のタイトル獲得に向け、意気が揚がっている。圧倒的な人数を誇るサポーターに対し、レイソルサポーターもそれに負けない熱い応援を期待したい。

6日前のリーグ戦ではFW興梠慎三、DF森脇良太を出場停止で欠くなか、DF槇野智章の攻撃参加に機先を制され、早々に失点を許した(●1-2)。レギュラーメンバーが復帰すれば、レッズの攻撃はさらに鋭さを増す。一発勝負の決勝で1点は重みを増し、先制点がチームに与える影響は大きい。レイソルはこれまで以上に集中した戦いが必要になる。

キャプテン大谷秀和、DF橋本和の出場停止は痛手だが、代わって登場する選手の活躍もサッカーの醍醐味のひとつ。ピッチに立つチャンスを得た選手のすべてがヒーローになる可能性を持つなかで、誰が活躍するのか。ピッチから目が離せない。

◀初優勝の1999年に授与されたヤマザキナビスコカップと、現在はアカデミーの指導者となった当時の出場メンバーたち。左から平山智規U-12コーチ、下平隆宏U-18監督、渡辺毅U-12監督、酒井直樹U-15監督。

## 柏レイソル

【監督】  
ネルシーニョ

|                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1 GK 桐畑 和繁        | 22 DF 橋本 和        |
| 2 DF 藤田 優人        | 23 DF 渡部 博文       |
| 3 DF 近藤 直也        | 25 DF 小林 祐介       |
| 4 DF 鈴木 大輔        | 26 MF 太田 徹郎       |
| 5 DF 増嶋 竜也        | 27 DF キム チャンス     |
| 7 MF 大谷 秀和        | 28 MF 栗澤 僚一       |
| 8 MF 澤 昌克         | 29 MF 谷口 博之       |
| 9 FW 工藤 壮人        | 30 MF 山中 亮輔       |
| 10 MF レアンドロ・ドミンゲス | 31 GK 中村 航輔       |
| 11 FW クレオ         | 32 GK 伊藤 俊祐(2種)   |
| 14 MF 鈴木 健太       | 33 DF 中谷 進之介(2種)  |
| 15 MF ジョルジ・ワグネル   | 34 DF 中山 雄太(2種)   |
| 16 GK 稲田 康志       | ※出場停止: 大谷 秀和、橋本 和 |
| 17 MF 秋野 央樹       | ヘッドコーチ/井原 正巳      |
| 18 FW 田中 順也       | コーチ/布部 陽功         |
| 19 FW 木村 裕        | GKコーチ/アレックス       |
| 20 MF 茨田 陽生       | フィジカルコーチ/ビメンテウ    |
| 21 GK 菅野 孝憲       |                   |

## 予想スターティングメンバー

柏 / 3-4-3

浦和 / 3-4-3

## 浦和レッズ

【監督】  
ペトロヴィッチ

|                   |             |
|-------------------|-------------|
| 1 GK 山岸 範宏        | 24 FW 原口 元気 |
| 2 DF 坪井 慶介        | 25 GK 大谷 幸輝 |
| 3 MF 宇賀神 友弥       | 26 MF 永田 拓也 |
| 4 DF 那須 大亮        | 27 MF 小島 秀仁 |
| 5 DF 槇野 智章        | 28 DF 岡本 拓也 |
| 6 DF 山田 暢久        | 29 MF 矢島 慎也 |
| 7 MF 梅崎 司         | 30 FW 興梠 慎三 |
| 8 MF 柏木 陽介        | 34 MF 山田 直輝 |
| 10 MF マルシオ リシャルデス | 46 DF 森脇 良太 |
| 11 MF 関口 訓充       | ※出場停止: なし   |
| 12 DF 野田 皓史       | コーチ/堀 孝史    |
| 13 MF 鈴木 啓太       | コーチ/杉浦 大輔   |
| 14 MF 平川 忠亮       | コーチ/天野 賢一   |
| 17 DF 永田 亮        | コーチ/長嶺 寛明   |
| 18 GK 加藤 順大       | GKコーチ/土田 尚史 |
| 19 FW 阪野 豊史       |             |
| 22 MF 阿部 勇樹       |             |
| 23 MF 野崎 雅也       |             |

毎朝いっしょに。  
ナビスコプレミアム

ヤマザキナビスコ

## 柏レイソルリーグ戦

スマホ、PC、タブレットで  
いつでもどこでも  
LIVEで見られる!

スカパー オンデマンド 検索

## GOODS INFORMATION

### 柏レイソル直営グッズ売店のご案内

バックスタンドコンコース内(青山門側・17番入り口付近)にて柏レイソル直営のグッズ売店を出店しております。是非ご利用下さい。

◆営業時間: 開場〜試合終了後約20分まで  
※終了時間は状況に応じて変更となる場合がございますので予めご了承下さい。  
《ご注意》Jリーグ主管試合のため、直営グッズ売店を含む、場内全てのグッズ売店でアソシエイト会員割引適用外となります。予めご了承下さい。



# ナビスコカップ初優勝組が語る 僕たちの記憶、後輩への期待

——今回、決勝まで勝ち上がったチームを見て感じる部分は。

下平隆宏U-18監督「当時とはサッカーのスタイルが当然違うし、選手の質も上がっているから、一概に比較はできないけれど、対戦相手が浦和レッズというビッグクラブなので、楽しみな試合です」



下平隆宏 Takahiro Shimotaira (1991～2000、2003～2004)  
日立製作所時代からボランチとしてレイソルの中盤を支え続けた仕事人。99年の初制覇時はキャプテンを務め、聖杯を掲げた。

渡辺毅U-12監督「ここ数年、ヤマザキナビスコカップの決勝はチケットが完売しているんですよ。僕らのころは空席もあったので（※公式記録3万5238人）、満員の国立ってすごいんだろうと思います。うらやましいです」

酒井直樹U-15監督「いまは選手個々のレベルが高いです。もちろん身体的な能力は同じ人間なのでそう変わらないし、サッカーもその時代によって変わってはいますが、いまのレイソルは勝ち方を知っている

と思います。勝つためのサッカーを知って実践している。そう考えると、当時の自分はサッカーをすることに精いっぱいでした」  
平山智規U-12コーチ「リーグ戦で試合をやった相手と1週間後にまた対戦することになるので難しいとは思いますが、前の試合で修正点を出して、すぐに挑めるという点でいい流れなのかもしれないと思います」

——14年前の決勝のことは覚えていますか。

下平「映像を何回も見直したことがあるので、かなり覚えています」

渡辺「当日のことは、ぜんぜん覚えていないですね」

平山「試合に出始めたころだったので、対峙する名良橋さんをどう抑えようってことで頭がいっぱいでした」

下平「そこが昔とはいまとの違いを感じられるところで、当時は名良橋にどう対峙していくかはヒラの責任。いまなら11人のメンバーのなかのひとりとしての役割があって、どう対戦していくかという

ことになる」

渡辺「当時は個人個人が強ければOK、という感じでした。いまはひとりがうまくて強くても、チームのなかで生きなければ意味がないという風に変化しています」

——決勝では大谷選手と橋本選手が出場停止です。どんな選手が起用されると予想しますか？

渡辺「2年目の山中は出場したら楽しみな選手ですよ」

下平「タニの代わりはバラ（茨田陽生）の可能性が高いのかな。出場メンバーにアカデミーの選手が増えるなら楽しみが増えます」

酒井「タイトルを獲るチャンスはチームとしても、クラブとしても逃してはいけないと思います。優勝すれば、10年後、15年後に、いまこうして僕らがやっているような座談会を彼らができるようになると思うので、ぜひこのチャンスを掴んで欲しい。選手はタイミングが良ければ、一気にチャンスをつかめるもの。満員で注目度の高いなかで活躍すれば、代表に呼ばれるかもしれない。ここで自信を掴んで欲しい。個人的にはドウ（近藤直也）が何かをやってくれそうな感じがしています。ヘディングは強いし、レッズは3バックだから、何かが起こりそうです」

——浦和との決勝戦で期待する部分は。

渡辺「最近レイソルは3バックのチームとの対戦が多かった。もちろんビルドアップの仕方が違う相手もいるなかで、浦和相手にどうやって戦うんだろうという楽しみがあります」

酒井「僕がちょうど14年前に経験した同じシステムで戦う可能性もあります。当時は『アップダウンの繰り返しで相手を攻略しろ。自陣に釘付けにするくらいにアタックしろ』と言われていました。同じ



渡辺毅 Takeshi Watanabe (1993～2004)  
99年当時は洪明甫（決勝戦は出場停止）、薩川了洋とともに鉄壁の3バックを形成。長くレイソルの最終ラインに君臨した。

1999年、柏レイソルとして手にした初めてのタイトル、ナビスコカップ。決勝戦は後半終了間際にDF渡辺毅のゴールで追いつき、延長戦の末にPKで決着がつくという白熱した展開となった。今に語り継がれる名勝負を戦い、現在はアカデミーの指導者として後進の育成に当たる当時の選手たちが、自らの思い出と今日の一戦への期待を語り合う。

システムならば、サイドの攻防が楽しみです」

平山「個人的に一緒にプレーしていたドウには期待しています。リーグ戦では負けましたが、同じ相手に続けて負けるわけにはいかないので、結果を出してくれると思います」

下平「リーグで調子がいい浦和が有利だと言われているなかで、選手同士のマッチアップ、対峙するパワーがより強く出る試合になると思います。3バックに対する3トップ、サイド同士、中盤の選手同士など、そこでの個のパワーが必要になってくる。リーグの調子以上に経験を出せると思うので、平山と名良橋のように互いにやり合うようなマッチアップを楽しみにしたいし、1人1人が頑張ってくれ。あとキーになる選手をどう消していくか、どうプレーさせないかがポイントだと思います」  
渡辺「浦和だと原口ですかね」  
平山「興沼は調子いいですよ」  
下平「当時はオレがビスマルクをマークして勝負をさせないという戦いがあった。最後はタイトルを取りたいというメンタルの強さが出るし、そこは当時もいまも変わらない部分。いいコンディションで試合に入って、メンタルで勝つ。劣勢でも劇的なゴールを出せるくらいに、諦めずにやって欲しいです」



酒井直樹 Naoki Sakai (1995～2001)  
レイソルの下部組織から、トップチーム、さらには日本代表まで登り詰めた最初の存在。レイソルの元祖イケメンアタッカー。



平山智規 Tomonori Hirayama (1996～2007)  
当時は、明神智和、北嶋秀朗、大野敏隆、南雄太らとともに若手有望選手として頭角を現しはじめていた「左サイドの貴公子」。

## REYSOL Report

### 常勝の領域

2013年のナビスコカップ優勝に王手をかけた。今回のタイトルを手にしたなら、レイソルは諸手を挙げて“常勝クラブ”を名乗ることができるのではないだろうか。

“常勝”は、よく使用されるフレーズだが、その定義は曖昧である。一体、何勝すれば“常勝”なのか、何年連続で優勝すれば“常勝クラブ”なのか。定義は無いに等しい。

優勝することで、そのクラブには“常勝”への権利が与えられる。しかし1度優勝したものの、その翌年は無冠で終わるようなクラブを“常勝”とは呼べない。では、2年連続優勝ではどうか。それはそれで素晴らしい成績ではある。だが、それでは間口はあまりにも広がり、“常勝クラブ”ばかりが乱立してしまうことになる。

そこで筆者の考える定義はこうだ。1回目の優勝で“常勝”の扉の前に立ち、翌年、タイトルを手にした時に扉を開くことを許される。そして3年連続タイトルを達成すると扉の向こうへ、すなわち“常勝”の領域に足を踏み入れられるのではないか。過去20年のJリーグの歴史を振り返ってみても、“常勝クラブ”の域に到達した強豪には、リーグ、天皇杯、ナビスコカップという国内3大タイトルのいずれかを3年連続で制し、一時代を築いたという共通点がある。

例えば鹿島には2度（1996～98年、2007～12年）の連続タイトルの経験があり、さらにV川崎（現東京V、1992～94年）、磐田（1997～99年）、G大阪

（2007～09年）の3クラブも3年連続タイトルという輝かしい記録を残している。いずれも、Jリーグの歴史に燦然と輝く黄金時代を築いた“常勝クラブ”であることに異論はないだろう。

先ほどの定義に当てはめてみると、レイソルは2011年のJ1優勝で“常勝クラブ”の扉の前に立ち、2012年の天皇杯優勝でその扉を開けた。そして、今回のナビスコカップで優勝を果たせば、いよいよ“常勝クラブ”の領域に足を踏み入れる。

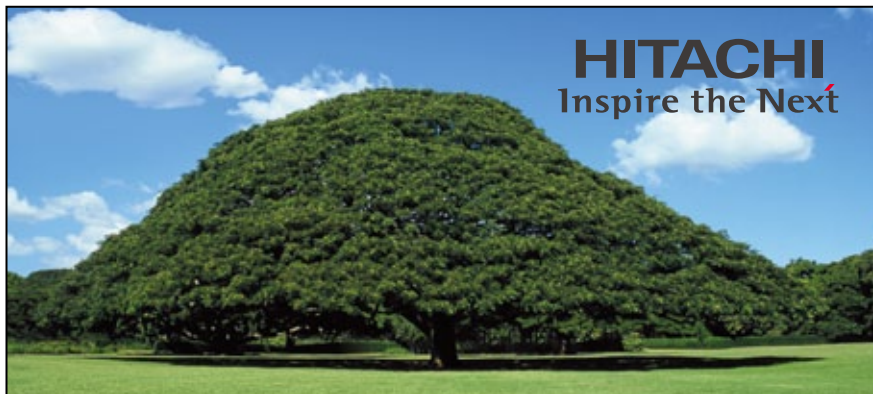
3年連続でタイトルを手にしたクラブは、Jリーグでは4クラブがあることは先述の通りだが、リーグ、天皇杯、ナビスコカップ、この国内3大タイトル全てを3年間で手にしているという点に限れば、実は鹿島のみ。V川崎、磐田、G大阪は、3年連続タイトルは達成したが、2つの大会に限られている。したがってレイソルが今回のナビスコカップのタイトルを手にすると、鹿島以来2クラブ目の偉業達成だ。ただ、J2優勝を含めた国内全タイトルという点、当然のことながら皆無。J2、J1、天皇杯、ナビスコカップの4年連続タイトル獲得は、Jリーグ史上初の快挙となる。

レイソルは14年前の1999年、ナビスコカップで優勝し、初のタイトルを勝ち取っているが、『ネルシーニョ・レイソル』にとっては最後に残された国内タイトルであり、優勝すれば晴れて国内全タイトル制覇の“グランドスラム”である。

全ての力を結集して、ナビスコカップのタイトルを手にし、レイソルは“常勝クラブ”として新たな歴史を切り開く。

Profile / 鈴木潤 Jun SUZUKI

レイソルを中心に国内ユース年代から海外サッカーなどを取材。J's GOALのレイソル担当も務める。



次の時代に、新しい風を吹き込んでいきます。

日立の樹オンライン [www.hitachinoki.net](http://www.hitachinoki.net)



株式会社 日立製作所

〒100-8280 東京都千代田区丸の内一丁目6番6号 電話 (03) 3258-1111(大代)

#### KASHIWA REYSOL 2013 Game Schedule

##### ●2013Jリーグ ディビジョン1

| 節  | 日付        | 時間    | 対戦       | 会場  | 結果   |
|----|-----------|-------|----------|-----|------|
| 1  | 3月3日(日)   | 13:00 | 川崎 日立柏   | 日立柏 | ○3-1 |
| 2  | 3月9日(土)   | 14:00 | FC東京 味スタ |     | ●0-3 |
| 3  | 3月16日(土)  | 14:00 | 仙台 ユアスタ  |     | ●1-2 |
| 4  | 3月30日(土)  | 15:00 | 大分 日立柏   |     | ○3-1 |
| 5  | 4月6日(土)   | 17:00 | 名古屋 日立柏  |     | △3-3 |
| 6  | 4月13日(土)  | 13:00 | 甲府 中銀スタ  |     | ●1-3 |
| 7  | 4月20日(土)  | 14:00 | 鳥栖 ヘアスタ  |     | ○3-0 |
| 8  | 4月26日(金)  | 19:00 | 大宮 日立柏   |     | ●0-4 |
| 10 | 5月6日(月・休) | 19:00 | 横浜FM 日立柏 |     | ○2-1 |
| 11 | 5月11日(土)  | 14:00 | 磐田 ヤマハ   |     | ○1-0 |
| 12 | 5月18日(土)  | 15:00 | C大阪 日立柏  |     | ●1-3 |
| 13 | 5月26日(日)  | 16:00 | 浦和 国立    |     | ●2-6 |
| 9  | 5月29日(水)  | 19:00 | 広島 Eスタ   |     | △0-0 |
| 14 | 7月6日(土)   | 19:00 | 新潟 東北電ス  |     | ●2-3 |
| 15 | 7月10日(水)  | 19:00 | 湘南 BMWス  |     | ○2-1 |
| 16 | 7月13日(土)  | 19:00 | 鹿島 国立    |     | ○2-1 |
| 17 | 7月17日(水)  | 19:00 | 清水 日立柏   |     | △2-2 |
| 18 | 7月31日(水)  | 19:30 | 横浜FM 日産ス |     | △1-1 |
| 19 | 8月3日(土)   | 19:00 | 鳥栖 日立柏   |     | ○2-1 |
| 20 | 8月10日(土)  | 19:00 | 大分 大銀ド   |     | △0-0 |
| 21 | 8月17日(土)  | 19:00 | 仙台 日立柏   |     | △0-0 |
| 22 | 8月24日(土)  | 19:00 | 大宮 NACK  |     | ○3-2 |
| 23 | 8月28日(水)  | 19:00 | 湘南 日立柏   |     | ○5-2 |
| 24 | 8月31日(土)  | 18:30 | 広島 カシマ   |     | ●1-3 |
| 25 | 9月13日(金)  | 19:00 | 磐田 日立柏   |     | ●1-3 |
| 26 | 9月22日(日)  | 17:00 | C大阪 長居   |     | △1-1 |
| 27 | 9月28日(土)  | 15:00 | 新潟 日立柏   |     | △1-1 |
| 28 | 10月6日(日)  | 14:00 | 川崎 等々力   |     | ●1-3 |

|                              |             |                 |               |      |
|------------------------------|-------------|-----------------|---------------|------|
| 29                           | 10月19日(土)   | 15:00           | 甲府 日立柏        | ○2-0 |
| 30                           | 10月27日(日)   | 16:00           | 浦和 埼玉         | ●1-2 |
| 31                           | 11月10日(日)   | 13:00           | 広島 日立柏        |      |
| 32                           | 11月23日(土・祝) | 17:00           | 名古屋 豊田ス       |      |
| 33                           | 11月30日(土)   | 17:00           | FC東京 日立柏      |      |
| 34                           | 12月7日(土)    | 15:30           | 清水 アイスタ       |      |
| ●AFCチャンピオンズリーグ2013           |             |                 |               |      |
| ACL1                         | 2月27日(水)    | 19:30(20:30)    | 貴州人和 貴陽       | ○1-0 |
| ACL2                         | 3月13日(水)    | 19:00           | セパルス・スト 日立柏   | ○3-1 |
| ACL3                         | 4月3日(水)     | 19:30           | 水原 日立柏        | ○6-2 |
| ACL4                         | 4月9日(火)     | 19:00           | 水原 日立柏        | △0-0 |
| ACL5                         | 4月23日(火)    | 19:00           | 貴州人和 日立柏      | △1-1 |
| ACL6                         | 4月30日(火)    | 19:00(18:00)    | セパルス・スト ゴスアード | ○3-0 |
| R16-1                        | 5月15日(水)    | 19:00           | 全北現代 全州       | ○2-0 |
| R16-2                        | 5月22日(水)    | 19:00           | 全北現代 日立柏      | ○3-2 |
| 準々決勝第1戦                      | 8月21日(水)    | 19:00           | アルジャバフ 日立柏    | △1-1 |
| 準々決勝第2戦                      | 9月18日(水)    | 20:15(19:22:15) | アルジャバフ キングアッド | △2-2 |
| 準決勝第1戦                       | 9月25日(水)    | 19:00           | 広州恒大 日立柏      | ●1-4 |
| 準決勝第2戦                       | 10月2日(水)    | 20:00(21:00)    | 広州恒大 広州天河     | ●0-4 |
| ●2013Jリーグヤマザキナビスコカップ決勝トーナメント |             |                 |               |      |
| 準々決勝第1戦                      | 6月23日(日)    | 19:00           | 広島 Eスタ        | ○2-1 |
| 準々決勝第2戦                      | 6月30日(日)    | 19:00           | 広島 日立柏        | ●0-1 |
| 準決勝 第1戦                      | 9月7日(土)     | 19:00           | 横浜FM 日立柏      | ○4-0 |
| 準決勝 第2戦                      | 10月12日(日)   | 13:00           | 横浜FM ニッパ球     | ●0-2 |
| 決勝                           | 11月2日(土)    | 13:00           | 浦和 国立         |      |
| ●天皇杯全日本サッカー選手権大会             |             |                 |               |      |
| 2回戦                          | 9月4日(水)     | 19:00           | 筑波大 日立柏       | ○4-2 |
| 3回戦                          | 10月16日(水)   | 19:00           | 岡山 日立柏        | ○1-0 |
| 4回戦                          | 11月16日(水)   | 13:00           | 大分 カンスタ       |      |

#### J.League Yamazaki Nabisco Cup 決勝トーナメント表

